

# ATDに見る世界的な人材育成の潮流

2022年11月24日



ATD Member Network Japan

代表理事 野原 裕美 (Hiromi NOHARA)

<専門領域>

人材開発 組織設計 組織文化変革

ATD-MNJでは、現在以下のような活動を行なっています。

## カンファレンス・イベント

- International Conference and Exposition (ICE)の  
デリゲーション・フォローアップ
- Japan Summit (毎年12月) の企画・運営



## セミナー・勉強会

- T&D Capability Model講座
- スタディーグループ
- 月次Coffee Chat

<https://www.atdj.jp/>

# 本日のアジェンダ

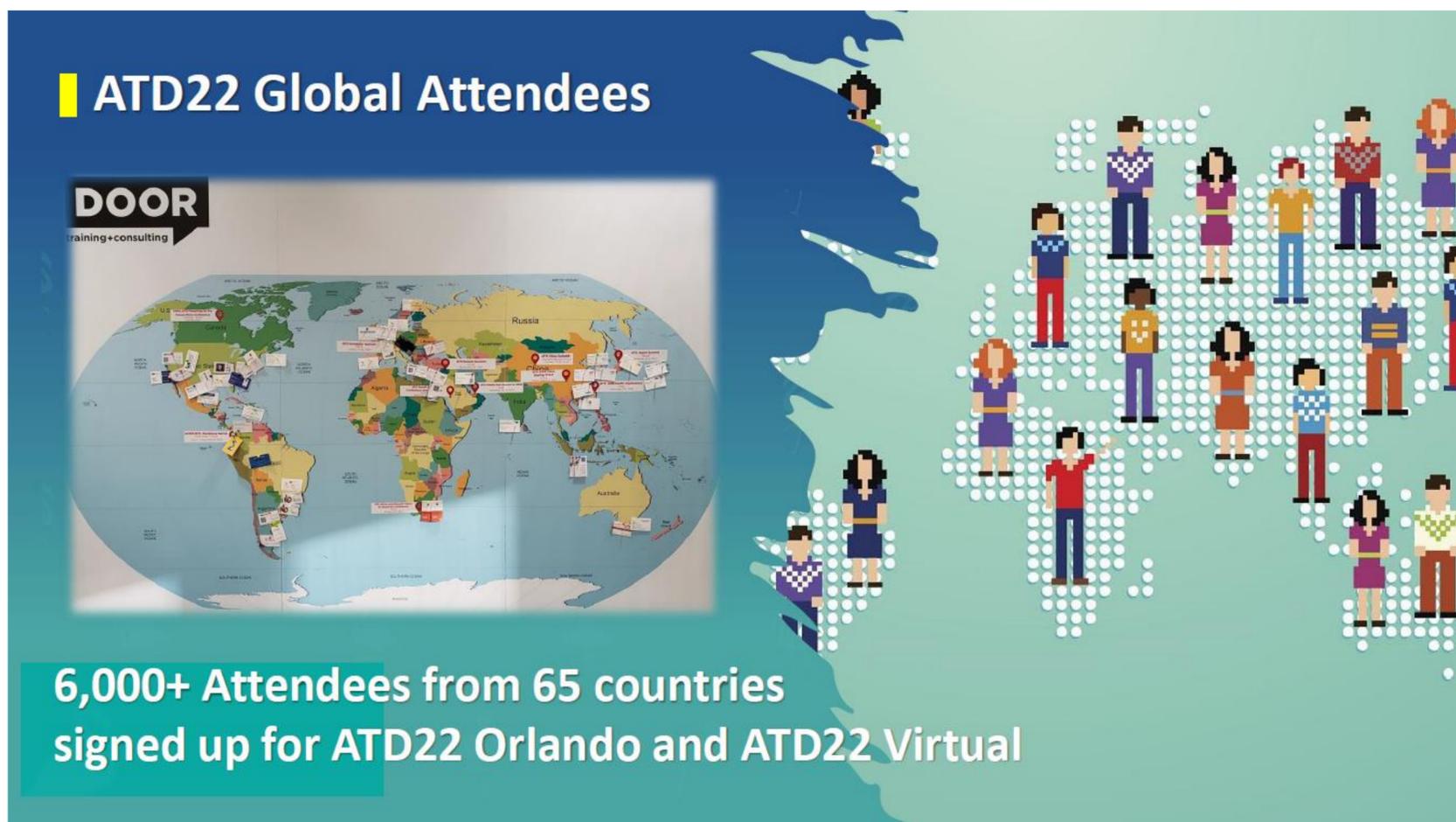
1. ICE2022から見る人材育成の潮流
2. ATD Japan Summit 2022のご紹介



**ATD ICE (International Conference & Expo) is the world's largest professional conference for learning and talent development professionals.**

- **Almost 80 Year History**
- **13,000+ Attendees**
- **90+ Countries Represented**
- **300+ Educational Sessions**
- **350+ Speakers from 22 countries**
- **300+ Exhibitors**

# 参加状況



## ■地域別参加者数

1. カナダ : 188
2. 韓国 : 178
3. 日本 : 111
4. ブラジル : 63
5. 英国 : 58

## ■参加総数 :

- オーランド : 5,400 (667)
- バーチャル : 2,500 (500)

( ) = International参加者数

# Theme: *People. Perspectives. Potential*



- We are excited to offer in person and virtual options for our global community in 2022, under the theme, “*people. perspectives. potential.*”
- At ATD 2022 you will discover new perspectives on developing talent, maximizing potential, and creating strategic transformations for your organizations and your learners.
- You will meet and collaborate with peers who are also looking to build long-term resiliency in the face of continuing change.
- You will leave inspired with big ideas and practical takeaways that can drive immediate improvement in your work.

# ATD 22 Virtual Experience

## Learning

**3** Keynotes

**15** Livestreamed Sessions

**30+** On-demand sessions

**14** Learning Tracks

**90** Days' Access

\*YouTube translation

## Virtual VIP Package (Option)

- 100+ sessions on-demand (after conference)
- Q&A Sessions with speakers

## Networking

- Attendee Roster
- Conversation Starters
- Community Learning
- Discussion Page
- Chat within the Conference Platform



# World Class Keynote Speakers



## **Sara Blakely**

**Founder and Executive  
Chairwoman, Spanx**

Sara is one of Time magazine's 100 Most Influential People in the world and was featured on the cover of Forbes as the youngest self-made female billionaire.



## **Bert Jacobs**

**Chief Executive Optimist, Life  
is Good®**

Bert will share his refreshingly human story about the power of optimism.



## **Jay Shetty**

**Former Monk. Purpose Coach.  
Bestselling Author.**

Jay inspires millions of people around the world through his number 1 podcast, book, and videos

# 14 Learning Tracks



キャリア開発



インパクトの評価



未来への準備-New!



インストラクショナルデザイン



リーダーシップ開発



ラーニング・テクノロジー



学習科学



マネジメント



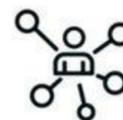
トレーニングの実施と促進



セールス・イネーブルメント



タレント・マネジメント



トレーニング・デリバリー

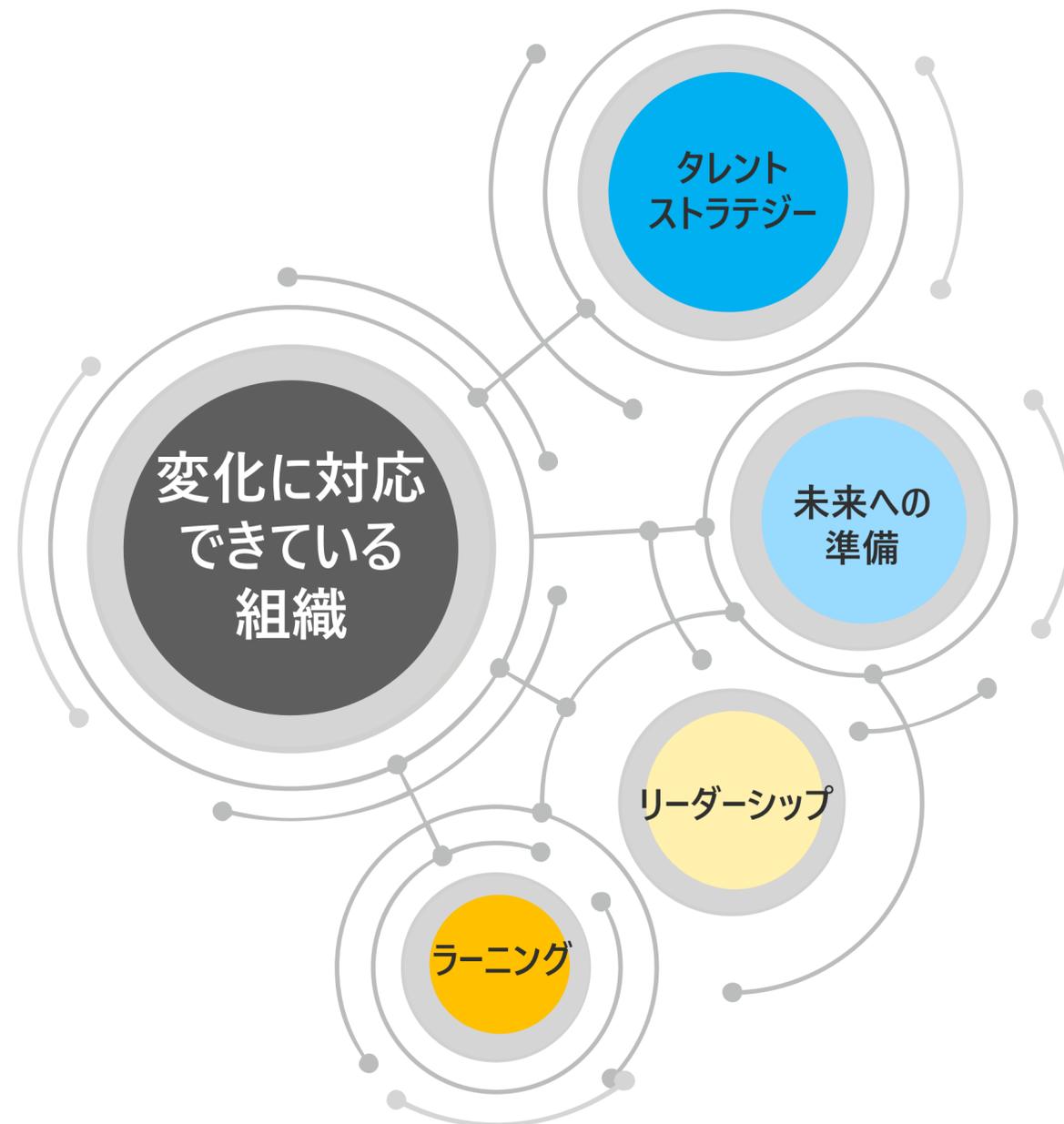


ガバメント



ヘルスケア

# ICE2022の注目領域



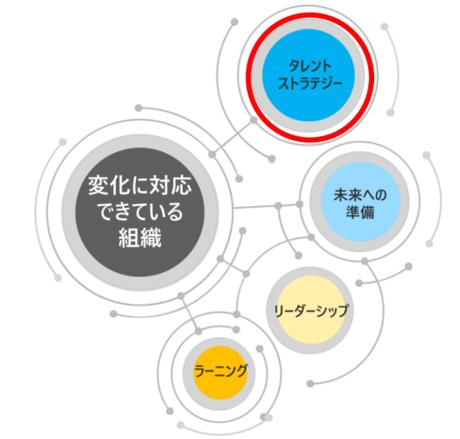
Great Resignation (大量離職)  
Inclusive Culture,  
Diversity Equity Inclusion (DEI)

Well-being  
COVID後のラーニング Upskilling  
マインドセット  
チェンジマネジメント

COVID後のリーダーシップ  
サーバントリーダーシップ  
Inclusive Leader

コンテンツのアジャイル開発  
デジタルツールの活用  
VR/XR チャットボット

# タレントストラテジー注目トピック



## ■ Inclusive Workplace

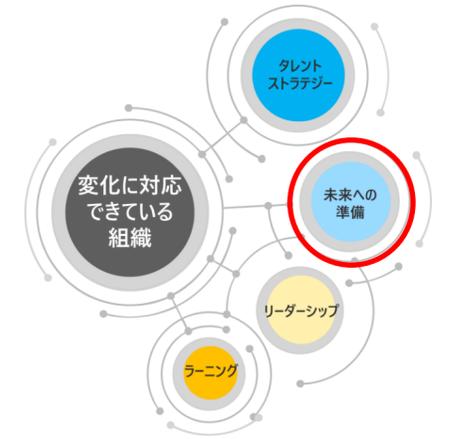
- 感謝の力
- 心理的安全性
- やりがいを感じられる仕事
- 働き方
- Allyship（多様性への寄り添い）

## ■ 組織文化の変革

- 従業員の「愛着」が離職率を下げる
- 仕組み的な取り組み
  - ✓ Visionへの共感
  - ✓ 価値観の共有
  - ✓ 相互の尊重
  - ✓ 個人の自己実現

トピックとしては目新しさはないが、これまでと異なるのは文脈としての大量離職時代。つまりより「待ったなし」の状況におかれているということ

# 未来への準備注目トピック

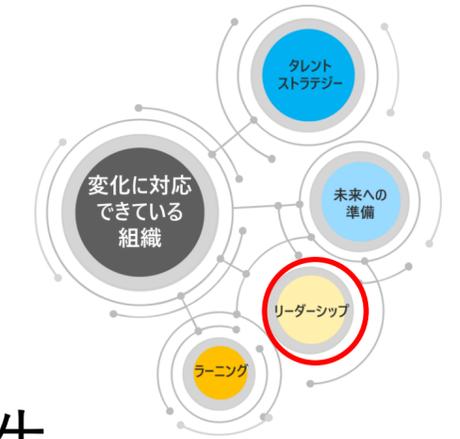


## ■Upskillingとスキル開発

- Upskillingは、各従業員が直面する状況や文脈が変化したことからの必要となるもの
- 業務上の役割や必要となるスキルによって変わる
  - ✓ 階層別研修という粒度では対応できない
  - ✓ 各受講生の状況に対応する施策でないとならずに対応できない
  - ✓ その施策とは研修やコンテンツとは限らない

Reskilling, Upskillingを実現するためには、  
各Learnerが直面する状況・文脈を正確に理解して施策を設計する必要がある。

# リーダーシップ注目トピック



## ■Post-COVIDの管理職の役割

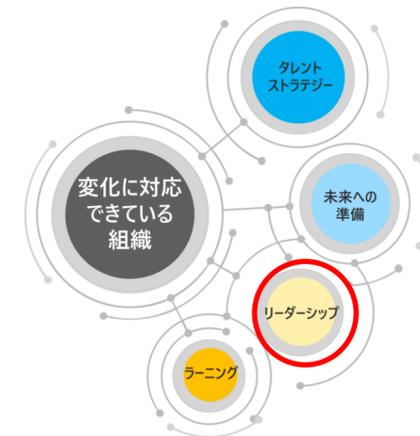
1. 成果とそれ以外の事のバランスを取る
2. 「明確な期待値」を示す
3. エンゲージメントに着目する
4. ロールモデルとなる
5. 変革リーダーである
6. すばらしい 1:1 を実施する
7. 関係構築をする

## ■サーバントリーダーの要件

1. 謙虚であること
2. 「リーダーシップ(結果フォーカス)」と「サーバント(人間関係フォーカス)」を兼ねそらせること
3. サーバントリーダー II  
メンバーの、タスクに関する習熟レベルに応じて適切な指導スタイルを使い分ける
4. メンバーに「賞賛」というプロフィットを提供すること

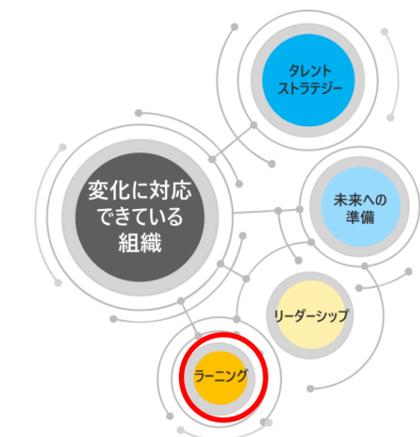
トピックとしては目新しさはない。これまでと異なるのは文脈としての大量離職時代。つまりより「待たなし」の状況におかれているということ

# 新しいリーダー像の提案



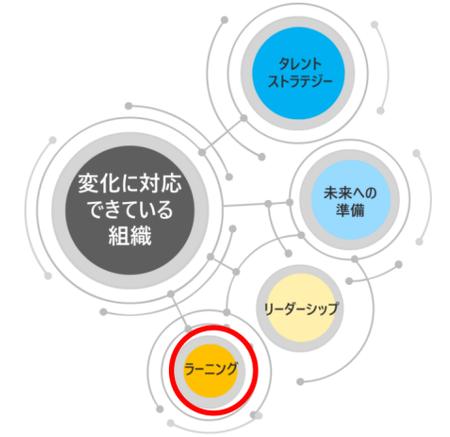
- 「全ての弱みの克服」に集中しない
- 自分の成功の邪魔になっている「弱み」については克服に挑戦する
- それ以外の「弱み」は無視して良い
- 日々「Fine(大丈夫)」では無く「Extra ordinary(特別)」であれ！

# ラーニング注目トピック (1/3)



めくる 入り込める  
できる 適す 音声 これら データ  
使いやすい コンテンツ 探る 向上 組織 アシスタント  
驚かす 適用 eラーニング 作成 セッション  
設計 方法 イラスト 異なる  
新しい 活気づく 学習 VR ar 学習者 変化 含む  
深い 参加 学ぶ チャットボット スキル 得る  
実装 構築 テクノロジー ツール 受け取る  
わかる トレーニング 使用 すばやい ビデオ 優れる 良い  
効果 プログラム くださる 話し合う  
うまい tiktok 引き付ける 役立つ 素晴らしい  
見つける 幅広い  
引き継ぐ 世界 かかわる

# ラーニング注目トピック (2/3)



## ■XR(VR/AR)

1. 目標と成功基準を明確に定義す
2. コンテンツと学習目標がARの使用を促進
3. マルチメディアコンテンツタイプの組み合わせを慎重に活用
4. トレーニングのパイロット、分析、スケーリング
5. ARのチャンピオンになり、社内の興奮を高めよう

## ■Podcast

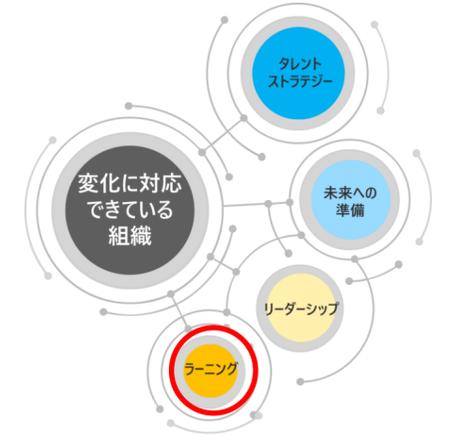
1. 目標に基づいたコンテンツ戦略
2. サウンド：録音とポリッシング
3. ユーザー体験
4. プロモーション
5. 測定、改善、成長

## ADDIEをADDEDDに

ADDIE：分析→設計→開発→実施→評価

ADDEDD：分析→決定→デザイン→経験→開発→提供

# ラーニング注目トピック (3/3)



## ■TikTok

### □TikTokを使って教材を作るコツ

- ✓ 提供する情報を研ぎ澄ます + 絞る
- ✓ キャラクターを作ってストーリーを語る
- ✓ シェアしたくなるコンテンツ

### □TikTokの用途

- ✓ コンテンツの提供
- ✓ 課題の説明
- ✓ 情報提供
- ✓ 採用活動・オフィスツアー等

- ユーザーのニーズを起点としたコンテンツ
- 最初から「完璧」を目指さず、反応を見ながら改善してコンテンツを育てる
- 作ったものを変える・作り方を変える・提供方法を変えることへの柔軟性

## World Class Keynote Speakers



- マインドセット
- 意図・直感・パッション
- 個人のストーリー
- 人生とビジネスの統合



# Conversation with Sara Blakely

## • **マインドセットが重要である**

- ✓ 16歳の時の事故で療養中にウェイン・ダイアーのリスニングテープを父からもらい、人生が変わる
- ✓ 学校では「What to think」しか学んでこなかったこと、「How to think」（目標設定・ビジョン）が重要であることに気づく

## • **失敗自体も貴重な経験ととらえる**

- ✓ 失敗からこそ学べることもある。失敗は挑戦の証
- ✓ ネガティブな経験も含む自分自身の「物語」がWhyを作る

## • **明確な目標設定し、そこから逆算してプロセス設計する**

- ✓ 意図を決めたら、直感を信じる
- ✓ 行動することが重要。学習したことをアウトプット
- ✓ 商品売るのではなく、顧客の課題解決にコミットする



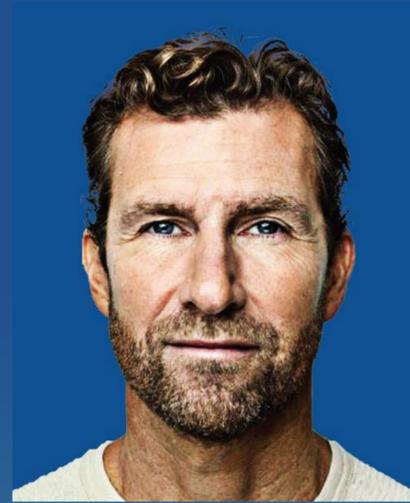
Think like a monk:  
Train your mind for peace and purpose every day.

- **Purposefulであるための3つのポイント**

- ✓ **Passion** : 困難を立ち向かう・考えもしなかった経験をさせてくれる
- ✓ **Strength** : 内向的・外交的×人重視・タスク重視、強みのチームワーク
- ✓ **Service** : Passion×他者への貢献。視点が変わると見るものが変わる

- **“TIMES”を行動計画に入れる**

- ✓ **T**hankfulness : 気分と免疫を上げる。不安をなくす
- ✓ **I**nspiration : 朝一番・寝る前に考えることを変える（思考の質アップ）
- ✓ **M**indfulness : 会議と会議の間に5分とってリフレッシュする
- ✓ **E**xercise : 適度な運動をする
- ✓ **S**leep : 夜中の0時まで成長ホルモン活性。睡眠が活動の質を上げる



# Life is Good– the Power of Optimism

## • “Playmaker”になろう

- ✓ Playmakerとはタフな状況でも前向きに夢を作れる人
- ✓ Playmakerが世界を変える
- ✓ カスタマーと一緒に物語を作ろう



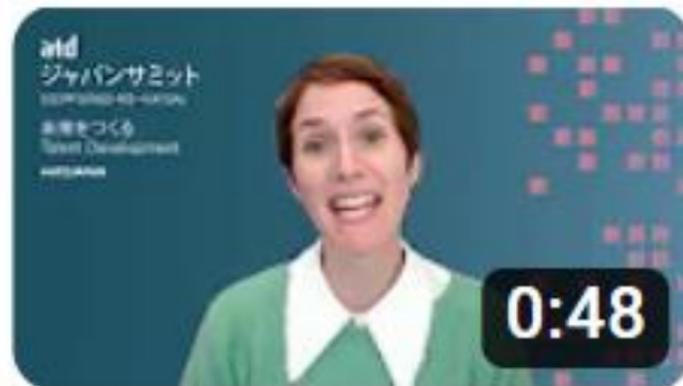
## • 物事の明るい面に焦点を当てよう

- ✓ 時間軸を過去に延ばせば、多くの改善しているが、私たちは「完璧ではない」面に焦点を当てやすい（例：貧困率・識字率）
- ✓ ビジネスで社会課題を解決したい

[Kids Foundation](#)



# Japan Summit 2022



「日本にいながら参加できるATDイベント」としてご好評をいただいている**ATD Japan Summit**、今年2022年は、12月6日(火)～9日(金)にバーチャルで開催されることとなりました。

今回のテーマは **「Future-Proof Talent Development」**

主要なトピックは、

- T&Dを成功させるために将来的に必要なこと
  - 先進的な組織のベストプラクティス
  - 次世代ラーニングテクノロジー
  - 従業員のヒューマンニーズとデジタル技術の橋渡しをする実践的手法
- となっています。

開催日時	2022年12月6日(火)～9日(金)
開催場所	バーチャルプラットフォームにて開催
参加登録費用	ATDメンバーの方：\$250 / ATDメンバーではない方：\$325

▼▼▼ **詳細・プログラム・参加登録は公式Webサイトまで！** ▼▼▼

<https://japansummit.td.org/>

↑  
お申込みはこちらから

# ATDのメンバーシップに参加しませんか？

## ATDメンバーシップ（ATD会員）には、以下の特典があります。

- 1 ATDの発信する人材育成・組織開発に関する豊富な最新情報が、Webサイト経由で参照できます。
- 2 ICE(International Conference and Exposition)や認定プログラム、日本で開催されるJapan Summitなどのイベント参加費がディスカウントされます。
- 3 書籍やレポートなどディスカウント価格で購入できます。
- 4 認定プログラムや資格取得プログラムなどに参加できます。
- 5 スタディグループへの参加などATD-IMNJの活動に参加できます。

<https://checkout.td.org/membership>

